



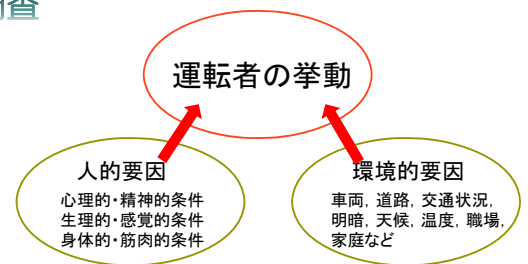
近年の研究テーマ

持続可能な交通まちづくりの構築方法と評価

持続可能な社会の形成のための交通まちづくりサイドからのアプローチとして、地域や地球における大気汚染や二酸化炭素の削減に代表される環境問題の解決、都市と地方や高齢者・障がい者と健康者とのモビリティ格差といった社会問題の解消が急務となっている。そこで、主に、
【環境問題重視の視点では】**低炭素化**に向けた交通まちづくりの一環として、自転車を重視した**サイクルタウン**(自転車道ネットワークと大規模レンタサイクルがメイン)の構築と評価に向けた研究を実施している。また、
【**モビリティ格差是正**といった視点では】地域における公共・福祉交通に着目し、交通サービスの提供方法、その提供サービスによる利用者の生活機能向上効果の測定を通じ、望ましい**地域公共・福祉交通**のあり方に関する研究を実施している。さらに、
【環境・社会・経済の三面からみた総合評価】に関する研究として、交通関連**サステナビリティ**の評価指標と地域間比較手法の開発に取り組んでいる。

危険走行に至るプロセスと背景の多角的かつ連続的な調査

高速道路における死亡事故件数は、各種対策の効果により確実な減少をみせている。一方、総事故件数も減少傾向にはあるが、依然年間10000件以上の事故が発生しており、根本的な事故要因分析と、それに基づく対策が求められている。
これまでの事故要因分析は、事故が発生した状況・原因について、運転者からのヒアリングなどに基づき分析を行う方法が主であったが、実際には(事故を含む)危険走行に至った車がどのような走行プロファイルであったか、周辺状況はどうだったのか、どのような気質の運転者だったのかを複合的に考えなければならない(右図参照)。本研究では、以上の考えに基づき危険走行に至るプロセスと背景を多角的かつ連続的に調査・分析する手法の開発を目指している。



高齢者・障害者を考慮した交通システム整備の提案

高齢社会においては高齢者のモビリティを高めることが、社会の活性化を進める上で必要になっている。モビリティを高めるための地域交通で、高いケアを提供する福祉有償運送の果たす役割は大きい。福祉有償運送は経営性の分析などに着目した研究を行い、補助の必要性に言及した。
また、住民が主体となって運営する地域交通に着目し、そのあり方、住民運営型交通の成立に必要な条件について研究を行っている。



教員

新田 保次

NITTA YASUTSUGU
教授



【専門分野】
交通計画、都市・地域計画
【担当講義】
学部 計画学基礎
交通まちづくり学
大学院 応用システム分析
交通・地域計画論
リノベーションまちづくりデザイン

【研究テーマ】

- 交通システムの持続可能性評価に関する研究、
- 移動困難者のモビリティ改善に関する研究
- 自転車重視型まちづくりに関する研究
- 観光地のバリアフリー化に関する研究

飯田 克弘

IIDA KATSUHIRO
准教授



【専門分野】
交通工学、交通計画、地域計画
【担当講義】
学部 道路交通システム計画、計画システム学
公共交通システム計画、情報活用基礎
大学院 交通システム分析学特論
応用システム分析
リノベーションまちづくりデザイン

【研究テーマ】

- 高速道路の走行安全性に関する調査・評価手法
- 高速道路の渋滞発生原因と対策に関する研究
- 道路休憩施設におけるサービスのあり方に関する研究

猪井 博登

INOI HIROTO
助教



【専門分野】
交通計画、社会福祉学
【担当講義】
学部 計画システム学、社会基盤創成デザイン
社会基盤工学ゼミナール
大学院 リノベーションまちづくりデザイン

【研究テーマ】

- 地域福祉交通計画システム計画と評価に関する研究

研究協力

松村 暢彦

MATSUMURA NOBUHIKO
ビジネスエンジニアリング専攻
准教授

【専門分野】
交通計画、公共受容
【担当講義】
大学院 リノベーションまちづくりデザイン
等

【研究テーマ】

- モビリティ・マネジメントによる態度・行動変容に関する実証的研究
- まちづくり計画の社会的受容に関する研究

キャンパスマネジメント委員会

若本 和仁

WAKAMOTO KAZUHIITO
准教授

【専門分野】
環境デザイン、建築設計、都市計画、ファシリティマネジメント
【担当講義】
キャンパスデザインプロジェクト(共通教育)

【研究テーマ】

- 環境デザイン、建築設計、都市計画、ファシリティマネジメント